

美しい心と強い体でよく考え夢と目標を実現する子

かしこい子 あたたかい子 たくましい子



知風

小熊小学校学校だより

第 11 号

令和5年1月20日



夢が描ける環境

明けましておめでとうございます。本年も昨年同様よろしく願いいたします。寒さの厳しい年の初めとなりました。1月10日から第4ステージがスタートしましたが、事故等の連絡を受けることもなく、この日を迎えることができました。それぞれのご家庭でよい新年を迎え、夢や希望をもたせていただけたことと思います。ありがとうございました。

1月10日、以下のような話をしました。

新年あけましておめでとうございます。全校のみなさんの元気のよいあいさつを聞き、明るいお顔を見て大変うれしく思います。新しい年を迎えて、しっかりやろう、がんばろうという意気込みが伝わってきます。

今年にはウサギ年にちなんで、「ウサギの耳はなぜ長い」の話をします。

昔々、おしゃべりウサギがいました。動物たちが森で音楽会をしているとき、ぺちやくちやおしゃべり、別の日、手品の会をしていても、ぺちやくちや、ぺちやくちや、とてもうるさく周りに迷惑をかけていました。

ある日、森の動物が集まって、お祭りの相談をしていました。いつものように、ウサギは、ぺちやくちや、ぺちやくちやおしゃべりに夢中

そのときでした、誰かが、「静かに」と叫びました、それでもウサギは、ぺちやくちや、ぺちやくちやおしゃべりをやめません。

「あっ」と動物たちが後ずさりし、そのまま、森に逃げ込みました。とそのとき、ウサギはぱくりと、何者かに飲み込まれてしまいました。大きな山犬に襲われたのです。

それからというもの、森の神は、残ったウサギにおしゃべりをできなくしてしまいました。犬はワンワン、牛はモウモウ、サルはキーキー、ほかの動物はみんなおしゃべりができるというのに、ウサギだけはおしゃべりができなくなってしまったのです。ウサギはその代わりに、耳を長くしてもらい、よく音を聞き、敵の動きを誰よりも早く知り逃げるができるようになりました。 おわり

ウサギさんのようにならないためにも、先生や仲間が話をしたらしっかり聞くことを守って、これからも学習や生活をしてほしいと思います。

今年もよく話を聞いて、どうするか考えて活動する機会を増やしたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様、今後ともよろしく願いいたします。

校長 番 美智雄

《12・1月の行事や活動》

○地域ボランティアの方による読み聞かせ

毎年2回、地域のボランティアの方が、本の読み聞かせに来てくださっています。今年度も、6月と12月の図書館祭りの期間中に、全学級で行っていただきました。それぞれの学年に合った内

容の本を選び、語りかけるように読み聞かせをされると、子ども達は、その話の世界に引き込まれるように聞き入っていました。今後も読書を通して豊かな心を育てていきたいと思ひます。



○授業参観・ふれあい活動

12/10(土)の授業参観には、多くの保護者の方にお越しいただき、お子さんとのふれあい活動にも一緒に参加していただきました。親子で活動している時の子ども達や保護者の方々の笑顔を見て、心が温まる思いがしました。子ども達にとって、楽しく心に残る時間になったと思ひます。ご参観ありがとうございました。



○1, 2年生 さつまいも収穫感謝の会

11月に、東小熊の南谷様と老人クラブの方々にお世話になり、さつまいもの収穫をしました。今年は、昨年以上に甘くて美味しいさつまいもがたくさん収穫でき、全児童に配布することができました。1, 2年生の子ども達がお礼のメッセージを書き、感謝の気持ちをお伝えしました。



○書き初め会

冬休み明けの1/10(火)に、全校で「書初め会」を行いました。典雅な箏の調べが校舎に流れ、どの教室も静まり返った緊張感の漂う中、真剣に書初め用紙に向かっていました。どの子の書き初めにも、今年の決意が表れているようでした。



《お知らせ》

・毎朝、「すぐーる」での健康連絡、欠席・遅刻連絡をしていただき、ありがとうございます。お子様の体調やご家庭からの連絡等を把握するために、今後も7時30分までに送信していただきますようお願いいたします。

・「学校評価アンケート」へのご回答、ありがとうございました。貴重なご意見を活かし、よりよい学校づくりに努めてまいります。今後も、学校の教育活動へのご協力をよろしくお願いいたします。

